

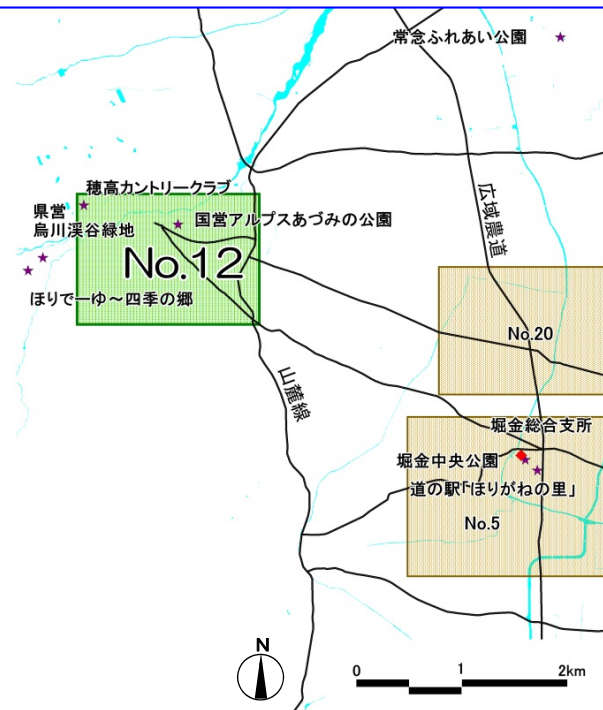
安曇野の原風景を巡る ふるさとウォッチングマップ

No.12

堀金岩原地区

—山麓の自然と歴史を訪ねて—

国営アルプスあづみの公園と県営烏川渓谷緑地がある堀金岩原地区。周辺には段々畑や屋敷林等の里山の自然とともに、大庄屋山口家や安楽寺跡、須砂山神社等の歴史文化遺産も数多く残っています。また、平成23年(2011)に放送されたNHK連続テレビ小説のおひさまのロケ地にもなりました。



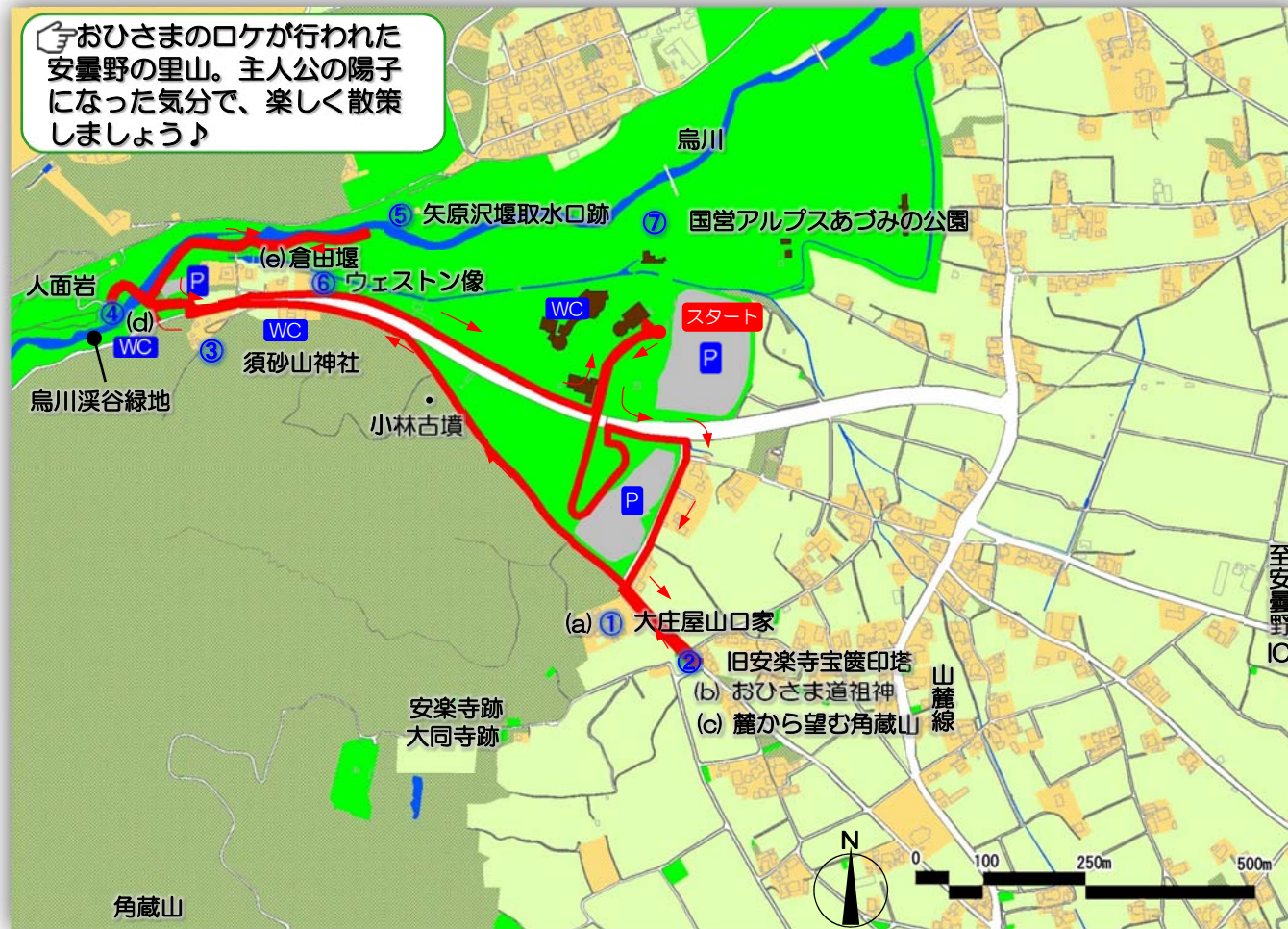
編集・発行
安曇野ふるさとづくり応援団

URL <http://azumino-furusato.com>

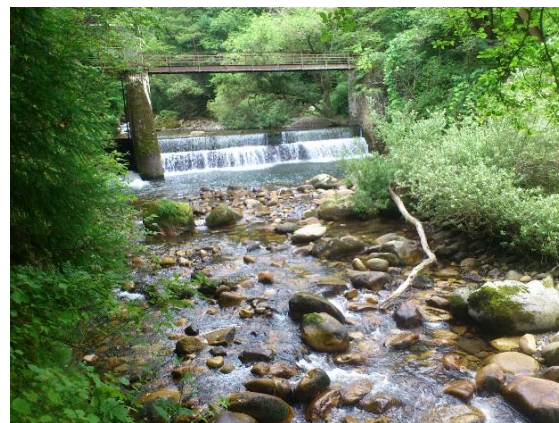
※本マップは公式サイトからダウンロード可能です

◆コースタイム ※時間は歩速3km/時としての目安です(休憩含まず)

スタート 国営アルプスあづみの公園(中央口)→約1.0km*20分→旧安楽寺宝篋印塔→約0.9km*18分→須砂山神社→約0.7km*14分→矢原堰取水口跡→約0.6km*16分→ウェストン像→約0.6km*12分→ **ゴール** 国営アルプスあづみの公園
【合計】約3.8km：1時間16分



※私有地への立入はご遠慮下さい。



(d) 烏川渓谷緑地
清流橋の下を流れる烏川



(e) 倉田堰
古来より安曇野を潤す堰



(a) 大庄屋山口家
屋敷林に囲まれた歴史ある建物



(b) おひさま道祖神
NHKおひさまで使用後移設された道祖神
(裏面コラム参照)



(c) 麓から望む角蔵山
住吉神社奥社と岩原城址があります

平成26年度 長野県地域発元気づくり支援金活用事業

① 大庄屋山口家

応永年間より代々岩原村の庄屋を務め、名字帯刀を許された家柄でもあった山口家。大庄屋を務めていた関係から松本藩主が当家をしばしば訪れ、東端の床書院の間が藩主の部屋として使われていました。江戸時代初期に築造された心字池を配した庭園は県の名勝にも指定され、庭石の苔がその年代の永きをしるばせています。(要拝観料・冬期休館)

【山口家庭園：県名勝】



山口家の門かまえ

② 旧安楽寺宝篋印塔

安楽寺は甲州の清光寺を本寺とする曹洞宗の寺院で、開山時期は不明ですが明治維新後の廃仏毀釈により廃寺となりました。現在でもかつての入口だった場所に、明和5年(1768)10月10日の建立の宝篋印塔が立っています。また、廃寺時に移設された明和7年(1770)築造の庫裏が、現在も豊科の法蔵寺境内に残っています。

【旧安楽寺宝篋印塔：市有形文化財】



旧安楽寺宝篋印塔

③ 須砂山神社

地元では山の神社として親しまれている岩原の産土神。岩原の産土神はかつては上堀にある諏訪社でしたが、その後山神社が上堀・下堀・田多井・田尻の五力村共同の産土神となり、現在は岩原単独で祀っています。春の例大祭で使用されるお舟は、安曇野で唯一の台車のないかつぎ式のお舟で、奉納後は帆柱を折って坂道を転がり落とす荒々しいお祭りです。

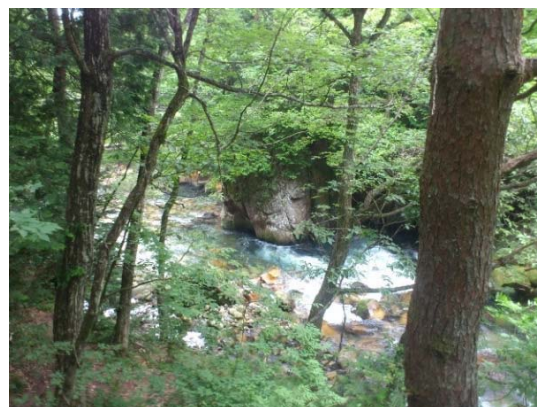
【岩原山神社のお舟祭り：市無形民俗文化財】



須砂山神社拝殿

④ 人面岩

常念岳を源とする美しい清流烏川。烏川渓谷緑地水辺エリアの清流橋の少し上流には、人の顔の形をした人面岩があります。烏川渓谷緑地内は遊歩道が整備され、左岸のバルコニーから烏川の清らかな流れと人面岩が良く見えます。



人面岩

⑤ 矢原沢堰取水口跡

古来より“あばれ川”と評されていた烏川。扇状地の安曇野では下流にいくと地下に浸透し水量が減少してしまうことから、扇頂部付近に下流の村々の灌漑用のたて堰の取水口が数多く設けられました。烏川渓谷緑地内には、五力堰取水口跡や矢原沢取水口跡、倉田堰跡等、当時の遺構が今も残っています。



矢原沢取水口跡

⑥ ウェストン像

日本において“近代登山の父”と評されるウォルター・ウェストン(Walter Weston, 1861年-1940年)。イギリス人宣教師として日本に計3度長期滞在し、明治27年(1894)に当時烏川村長であった山口吉人を訪ね、案内人と共に一の沢を登り外国人として初めて常念岳の山頂に立ちました。



ウェストン像

⑦ 国営アルプスあづみの公園

「自然と文化に抱かれた豊かな自由時間活動の実現」をテーマに平成16年(2004)7月、全国で16番目の国営公園としてオープンしました。穂高・堀金地区では平成26年(2014)4月に烏川を挟んだ田園文化ゾーン北地区が開園し、おひさまのロケが行われた里山文化ゾーンも今後の整備も予定されています。(要入園料)



国営アルプスあづみの公園中央口

NHK連続テレビ小説「おひさま」

平成23年(2011)4月から9月まで放送されたNHKの連続テレビ小説「おひさま」。主人公陽子の実家へ続く小路という設定で数多く登場した、茅葺の水車小屋と道祖神のロケが行われたのが大庄屋山口家の南側の田園です。簡易的なセットだった茅葺の水車小屋(右下)は解体されましたが、ロケに使用された道祖神は旧安楽寺宝篋印塔近くと豊科郷土博物館(左下)に移設されて残っています。



当時のロケセットの様子